

「肺癌術後肺瘻の発生状況調査とフィブリノゲン製剤胸腔内注入療法の効果と安全性についての単施設後方視研究」

この度、私共は肺がん手術を受けられる患者さんの診療を更に改善するべく、あらたな調査研究を開始することといたしました。研究題名は「肺癌術後肺瘻の発生状況調査とフィブリノゲン製剤胸腔内注入療法の効果と安全性についての単施設後方視研究」です。

肺瘻（はいろう）とは、手術説明時にお聞きになり覚えている方もおられるかもしれませんが、肺の切離部や剥離部から空気が漏れる状態のことです。肺の手術に伴う合併症（有害事象）のひとつです。治療法は、様々ですが私共はフィブリノゲン製剤という血液製剤を胸腔内に注入する方法を行っております。

今回は、2015年1月から2020年12月までに当科で肺癌手術を受けられた方を対象に、肺瘻の発生状況や治療経過を調査します。肺瘻が発生しなかった患者さんの状況も併せて調査する計画です。皆様の診療記録を見直していく研究ですので、新たな検査・処置やご負担はございません。

調査する項目は、年齢・性別・PS・併存症・喫煙指数・臨床病期・肺癌局在・cTNM・臨床病期・術前呼吸機能検査・BMI・Alb・CRP・NLR・術式・手術アプローチ・病理病期・組織型・pTNM・同側手術の既往・術後有害事象・術後肺瘻有無とグレード・フィブリノゲン製剤胸腔内注入の有無・注入日・複数回注入例は各注入日・胸腔ドレーン抜去日・注入療法不成功例における手術あるいは気管支塞栓療法など治療日・術後在院日数・フィブリノゲン製剤注入後有害事象などです。

お問い合わせ先

本件に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また皆様の診療記録が本研究で使用されることにつきまして不同意の申し出があれば、使用せず解析から除外させていただきますのでお知らせください。（ただし、不同意を申し出た時期により、すでに研究結果解析発表済みの場合にはご要望に添えないことをご了承ください。ご理解とご協力をお願い致します。）

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

日立製作所日立総合病院 呼吸器外科

〒317-0077 日立市城南町 2-1-1

電話：0294-23-1111（代表）（月～金：10時～17時）

担当：（研究責任者）市村秀夫（いちむらひでお）

診療・手術中で電話対応できない場合がございます。その際には、お名前とお電話番号をお伝えください。折り返しご連絡させていただきます

以上